

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリパークス
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指 標	R7	R6	R5	増減理由等
年間利用者数(人)	249,600	256,700	288,600	夏場の猛暑及び悪天候の影響による利用者数の減少。また、7月の津波注意報発令に伴うビーチ利用禁止等の影響による利用者数の減少。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	34,900	44,700	62,900	
コメント	利用者数は近年の夏場の猛暑等により過年度と比較し減少傾向であるが、3月開催のサンドフラワーフェスタにおいては昨年度より約8,000人の増加であり評価できる。今後は天候や気温を考慮したイベントの開催を検討する必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	112,812	112,328	111,985	人件費	70,775	66,063	64,368
利用促進事業収入	66,766	66,598	72,279	需用費、役務費	14,448	14,347	15,098
自主事業収入	378	383	339	委託料・使用料等	26,143	24,202	24,970
				一般管理費	10,728	10,663	11,199
				利用促進事業支出	62,185	63,900	68,369
				自主事業支出	462	626	411
合 計(①)	179,956	179,309	184,603	合 計(②)	184,741	179,801	184,415
収支差額(①-②)	-4,785	-492	188				
コメント	人件費増の影響を受けて収支差額は赤字となったが、収入では指定管理料及び利用促進事業収入が昨年度より増額とした点は評価できる。天候等に左右される面もあるが、更なる集客を目指すべく、計画的なイベントの開催や情報発信が必要である。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃(毎日実施)
	保守・点検 クレーン・クルーザー・プル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警 備 夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修 繕 電気系統修繕、遊具修繕、漏水修理、ビーチ施設等修繕、追加植栽等
	備品等管理 備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策 パトロールの実施(毎日)、マリーナ航路情報の提供、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施、携帯型雷警報器の導入
	そ の 他 危険区域侵入者や夜間の不審者への直接指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備 年中無休化・開園時間延長の継続、サンビーチーツ葉シャワー室の通年利用化、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、バーベキュー広場WEB予約システム・キャッシュレス決裁の導入、サイクリング・ジョギング・ウォーキングマップの更新、ビーチバーガーハウスの営業時間延長
	イベント等ソフト面充実 マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(フリーマーケット、親子つり大会、ヨガ教室、バベキューグッズレンタル、命の丘天体観測会等)、南ビーチのイルミネーション実施
	施設設備等ハード面充実 ミスト・スプリンクラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	そ の 他 赤ちゃんの駅への登録、海の駅への登録、サンビーチボランティアの立ち上げ
管理運営体制	利用者へ安心で安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。
コメント	施設の維持修繕を随時行うとともに、夜間常駐警備や津波避難訓練の実施など、適切な維持管理業務に努めている。また、地震発生時及び大雨・洪水警報発令時等においては、安全巡視を的確に実施し、利用者への安全対策に真摯に取り組んでいる。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(海びらき期間及び各イベント開催時等 延287件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設の維持・修繕・故障に関する要望	苦情のあった施設修繕の早急な対応と安全対策の実施。
イベントに関する要望	今後のイベントに活かせるものは反映させる。

5 総合評価

評価コメント	利用者満足度アンケート回答では、「公園管理」「スタッフ対応」については「とても良い」「良い」でほぼ100%となっており評価できる。また、サービス提供やイベント実施を適切に行い多くの利用者が訪れ、アンケート回答では「楽しかった」が100%となっており、適切な運営が行われていると評価できる。
今後の課題と対応	施設の老朽化対策については、利用者の事故の未然防止のため、定期的な安全点検の実施や、計画的かつ効果的な修繕を実施していく必要がある。